

ELECTRONIC DATABASE

漁港電子台帳整備 (漁港クラウドシステム登録代行業務)



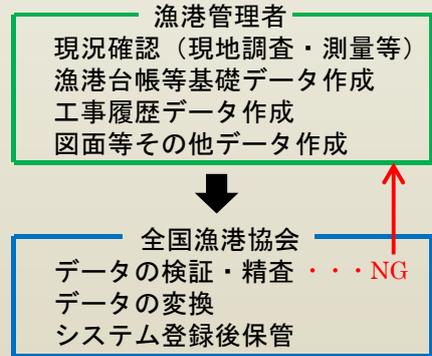
水産庁では、漁港施設の管理の高度化のため、漁港台帳や漁港カルテ、施設カルテ等の漁港基礎情報及び定期点検・老朽化調査（機能診断）等のデータの電子化及び集約化を推進しています。

全国漁港協会は、データの集約化を図るべく漁港クラウドシステムを構築し、漁港管理者により運用されています。漁港クラウドシステムは、電子データの共通化を図ることにより、漁港管理者のデータを同一フォーマットで保管し、GIS(地理情報システム)にてデータベース化したものをクラウド上で閲覧・利用することが可能となり、下のようなメリットが期待できます。

当社は、漁港クラウドシステム登録までの漁港管理者が行う作業を、代行します。

- ・サーバー保守や管理および更新等の運営が不要
- ・データの安全な維持管理費用と手間の削減
- ・ソフト開発に要する費用の削減
- ・施設の断面図、設計諸元や施工履歴（工事・補修）等諸資料の一元管理による資料散逸や劣化防止
- ・クラウド上での閲覧
- ・ICTの一環として、データと位置情報の一体的利用
- ・港勢調査や海岸保全区域データ、測量、地質調査成果、設計図書等を関連データとして登録可能

クラウドシステム登録工程概要



漁港管理者代行の一般的な業務内容

- ・計画準備、資料収集整理、現地確認
- ・登録データ作成
漁港台帳、漁港基本情報、現地確認、施設情報、関連データ（測量、地質、設計等）の電子データ化、電子データの平面図への入力、システム登録の為の調整
- ・成果取り纏め（報告書作成）
- ・照査、打合せ協議

漁港台帳

設計図書

1. 設計条件

潮位: HWL+3.00m, LWL-0.10m
 既築高: +3.70m
 計画水深: -3.00m
 基礎高: -0.50m
 捨石マウンド天端高: -3.00m
 対象船舶: 漁船 20GT
 利用目的: 漁獲
 上載容量: 常時 10.0kN/m², 地震時 5.0kN/m²
 けんり力: 係船柱 1基 30kN/設置間隔 10m=3kN/m、作用高+3.85m
 対象船舶は漁船の 10GT~22GT とする。

図面

GIS

現地確認

地質調査

機能保全計画書

横断測量成果表

現場名: 測量
路線名:

No.	測点名	断面名 [No.60]		
		距離	地盤高	橋高
		10,000	60,000	3,98
		左側		右側
1		0.000	1.42	3.800
2		0.100	1.42	4.300
3		0.100	-11.50	5.300
4		1.350	-11.50	5.300
5		3.350	-11.50	5.400
6		4.850	-12.50	5.400
7		1.350	-12.00	6.650